

2024年度 西濃地区サッカー少年委員会 大会要項(案)

【大会運営】	<ul style="list-style-type: none"> ・西濃地区サッカー少年委員会とする。(全チーム数:24)
【選手登録】	<ul style="list-style-type: none"> ・第4種登録をした、スポーツ傷害保険に加入する小学生で編成されたチームとする。 ・各クラス西濃大会においてはエントリー表(事前配布)を、原則西濃大会2週間前までに提出する。(全ての大会)※U-12 FAリーグは除く ・選手及び引率指導者の登録人数・ベンチ入り人数は大会ごとで異なるので注意する。 ・岐阜県選手権大会は大会参加要項上、少年団チームの参加とし、同時期開催のクラブ選手権は、クラブチームのみの参加とする。(重複出場を認めない) ・同一の大会(クラス別)での、重複出場を認める。(ヒマラヤ) ・Aクラス6年生以下、Bクラス5年生以下、Cクラス4年生以下、Dクラス3年生以下、Eクラス2年生以下とする。 ※全クラス3学年までのチーム構成が望ましい。 ・サーラE&Lカップ大会についてのみ、他団との混成チームのエントリーを認める。(西濃大会出場可 ※7ページ参照) ・但し、混成によって生じる問題は当事者で解決することを前提とする。 ・大会にて選手(U-10以上の大会に出場する全ての選手)は選手証を、指導者は公認指導者ライセンス認定証番号をエントリー表に記入する。 ・審判は、審判証(当日、審判員リストに氏名等記入)を持参する。(必ず写真貼付のこと。無き場合、本人確認できるものを提示のこと。) ・U-8・U-9の大会については、JFA第4種登録は必要なしとする。 ※CCIカップは除く ・U-10以上の大会に出場する選手はJFA選手登録を必要とする。(※ブロック予選より適用) ・保育園児・幼稚園児の大会への参加は一切認めない。(大会への参加は小学生のみとする。) ・選手証を監督会議後、エントリー表に記入した選手の順番にてファイル等のケースに入れて本部(競技部)に提出し、自チームの1試合目の終了後までには受け取りにくること。(全日本・チビリンのみ) ・※上記2つの大会以外はエントリー表に基づいて登録選手の確認を行う場合がある。 ・どの大会においても選手証は必ず持参をすること。 ・抽選による1次予選の開催については、抽選後に決定する責任チームに一任する。(責任チームは、予選日程の調整、試合結果と退場・警告者記録の報告を行うこと。) ・同じ1つの大会で、地区大会と県大会において、違うチームで参加はできない。(※転校、移籍、クラブ連盟の予選など) ・全日本少年サッカー大会に出場する選手は、8月末までに当該チームに選手登録がされていることを条件とする。
【指導者】	<ul style="list-style-type: none"> ・全日本少年サッカー大会においては、JFA公認指導者ライセンスを有することを必須とする。 ・ベンチスタッフの、戦術的指示はテクニカルエリア内からその都度ただ1人のベンチスタッフが立って伝えることができる。(ベンチには必ず2名以上入ること。) ・ベンチからの指示等は、指導者としての自覚を持ち行うこと。 ・ベンチでの電子通信機器(スマートフォン等)の使用については、競技者の保護や安全に直接関係する場合の使用が望ましい。 ・ベンチからの動画撮影は禁止する。 ・懲戒処分を命じられた指導者は、次の指示に従うこと。

	<p>異議:ベンチ(監督、コーチ、スタッフ等)が審判の判定に対して異議を唱えたり、選手に対し罵声を浴びせる等のネガティブなコーチングを行ったりして(著しくひどい場合は即退席処分)、主審から一度警告を受けた後に、再度同様な行為があった場合は、主審の判断により退席処分とし、それ以降はベンチからのコーチングを不可とする。(主審は本部へその旨を報告し、競技部並びに審判部を含めた本部役員により決定し、該当チーム代表者へ通達する。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ベンチ以外からの戦術的指示が疑われる場合(保護者を含む)、大会本部関係者及び審判から指導があった場合は、速やかに指示をやめること。 指導に従わない者は、その関係チーム代表者へ報告の上、会場から退席させられる。
【登録人数】	<ul style="list-style-type: none"> 登録人数は大会(8人制やスポンサーによる)ごとで変わるため、2024年度事業計画を確認の上、参加申込みすること。 全日本のみ複数チームエントリーを可とする。 全日本とフジパン(8人制 2ピリオド制)において、選手は12人以上16人以内とする。 (スポンサー大会規定によるが)基本的には最低12人(1チームのみのエントリー)がベンチ入りとするが、当日、急病などにより選手の不足に至った場合は、競技部並びに審判部を含めた本部役員により決定するものとする。 常にフィールド内に8人の選手がいなくてはならない大会要項もあるので、退場・負傷により人数が下回った場合、事実上試合は不成立となり、不戦敗となるので注意する。
【交代人数・回数】	<ul style="list-style-type: none"> 各大会で交替の手続きが異なる。(8人制) 大会ごとの大会要項 競技規則ならびに競技細則(諸規定)を参照。 8人制・・・自由な交替(交替人数・回数共にフリーとする。 交替の際の、交替の手続きが不要。 (※JA全農杯のみ必要・・・西濃大会のみ) U-11JA全農杯と選抜大会のみ3ピリオド制。(16人以上の選手登録が必要) 第1ピリオドと第2ピリオドの選手は総入替えとする。第3ピリオドについては自由とする。(連続して第1ピリオドと第2ピリオドに出場することはできない。) 5人以上の交替はハーフタイムに行う。 毎試合毎にメンバー表を提出する。その際にユニフォームが類似色の場合は、必ず打ち合わせを済ませてメンバー表に記入すること。 全選手はメンバー表との照合、用具等の確認を毎試合開始10分前から受ける。
	<p>※西濃大会のみ</p> <ul style="list-style-type: none"> ベンチ入りできる人数(選手)は、原則エントリーした人数(選手)とする。 出場可能人数より選手人数が上回る場合でも、エントリー表に登録してあればベンチ入りできる。ただし、出場可能選手(交代要員)と見分けがつく服装であること。 (メンバー表で毎試合ごとに、エントリーメンバーの中から出場人数分の選手を選出して提出)
【ユニフォーム】	<ul style="list-style-type: none"> ユニフォームは2着(濃淡)を用意すること。 各チームともユニフォーム(ストッキングも含む)はFP・GKともに、必ず正・副(2着)で、すべて異色(濃淡)のものを用意し(厳守)、どちらも背番号は選手本人と一致すること。 ユニフォームは必ずパンツの中に入れること(気温が高い場合は監督会議時に判断する) ※背番号は1～20までの通し番号とするのが望ましい。 ※シャツの色彩は、審判員が通常着用する黒色と明確に判別し得るものでなければならない。 ユニフォームの色、選手番号のエントリー提出締め切り後の変更は基本的には不可。

	ソックスの上にテープを巻く場合そのテープ等の色はソックスの色と同色とする。
	・ アンダーシャツの色は問わない。原則、 GK含め チーム内で同色のものを着用する。
	・ アンダーパンツの色は問わない。原則、 GK含め チーム内で同色のものを着用する。 (同色であれば長袖・半袖の出場に制限はなし。)
【メンバー表】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 試合開始予定時刻20分前まで(トーナメント時はその限りではない)に、メンバー表を1部本部へ提出する。(審判打合せ:試合開始20分前集合) ・ この手続きは必ずベンチ入りスタッフが行うこととし、選手・保護者等にて行うことは一切認めない。 ・ 西濃大会専用のエントリー表兼メンバー表を使用のこと。
	※メンバー表への選手の記入順序は小さい番号1→大きい番号へ記入すること。 (試合前の審判チェックがしやすいように、この順番で整列のこと)
	・ ベンチ入りする指導者(監督・コーチ)を最大4名記入し、記入された4名のうち指導者資格保有者の指導者登録番号を記入すること。
【競技場の大きさ】	<ul style="list-style-type: none"> ●U-12・U-11・U-10 8人制の場合 縦68m・横50m・センターサークル半径7m・ゴールエリア4m ペナルティエリア:12m・ペナルティマーク:8m・ペナルティアーク:7mとし、 ゴールは少年用(内のり2.15m×5m)を使用する。 交代ゾーン6m(ハーフウェイラインを挟んで3mずつ) ●U-8・U-9 5人制の場合 縦32m(以内)・横23m(以内)・センターサークル半径2.5m・ ゴールエリア兼ペナルティエリアサークル:半径5m ペナルティマーク:ゴールエリア兼ペナルティエリアサークル半径5mの頂点とする。 ゴールは、フットサルゴールを使用する。 交代ゾーン6m(ハーフウェイラインを挟んで3mずつ) ●U-9CCIカップ フィールドの大きさ : 長さ(タッチライン)60m×幅(ゴールライン)40m ペナルティエリア : 10m ペナルティマーク : 8m ペナルティアークの半径 : 7m ゴールエリア : 3m センターサークルの半径 : 7m
【審判】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大会において、審判は正装を義務とする。 ワッペン(レフェリー、リスペクト)を取り付けること。(手袋・アンダーの着用は認める。) ・ 審判は、担当ブロック及び決勝大会出場チーム1名以上で構成する4名を1クルーとし、必ず4名(又は2名)にて試合前に打ち合わせを行うこと。 但し、全日本・フジパン・県選手権・ぶんけいカップについてはエントリーチームすべてで行なう。 ・ リーグ戦時の帯同審判員は、そのブロックの試合が全て終わるまで会場に待機すること。 (試合結果が同率の場合PKの審判を行うことあり) ・ 帯同審判人数は、U-8・U-9・U-10は各チーム1名・U-11・U-12は各チーム2名とする。(厳守) ・ FAリーグU-12については、2名審判とし、帯同審判人員各チーム1名とする。 (FAリーグU-11、U-10については、対戦チームの相互審判(1名)にて実施する。)

【会場準備】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会場準備、運営、後片付けについては、担当ブロックで行う。 (詳細はブロック会議を行い、各担当ブロック長の指示による。) 但し、会場後片付けは、原則として決勝大会出場チームも協力して行う。 ・ 担当ブロック各チームの1名は本部に待機し、大会運営に協力する。 ・ 担当ブロックは正と副があるが、2日間で行われる大会においては必ず2ブロックで行う。 ・ FAリーグについては会場ごとで取り決め事項が異なるので、リーグの会場担当者の指示に従う。
【大会中止の決定】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 雨天時などによる中止の決定は、原則として現地決定とする。ただし台風などの暴風警報などの場合は、この限りではない。
【落雷事故防止】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 落雷の予兆があった場合は、速やかに活動を中止し、危険性がなくなると判断されるまで安全な場所に避難するなど、選手の安全確保を最優先事項として常に留意する。 ・ 活動場所の形状(例:スタジアム、河川敷G、等)によって活動中止の判断時期は異なるが、特に周囲に何も無い状況下においては、少しでも落雷の予兆や危険性がある場合は速やかに活動中止の判断を行うこと。 ※ サッカー競技規則上では「試合の中止は審判員の判断によること」となっているが、審判員が雷鳴に気付かない場合・審判員と他関係者との関係で必ずしも中止権限を審判員が持てない場合(例:ユース審判員等)があり、このような場合、中止決定や審判員への中止勧告は競技部が行う。中止決定者が近くにいない状況で現象が発生した時は、その場にいる関係者が速やかに中止を決定できることとする。(JFA落雷指針参照)
【インフルエンザ等感染症流行対応】	<ul style="list-style-type: none"> ● 大会参加等、チーム活動の自粛について 以下の条件になった時は、活動の自粛などの対応をする。 ① 学校が学校閉鎖となった場合 → その学校に通学している選手は、大会等の参加を自粛させる。 ② 学校が学年閉鎖となった場合 → その学校の学年に該当する選手は、大会等の参加を自粛させる。 ③ 学校が学級閉鎖となった場合 → その学校の学級に該当する選手は、大会等の参加を自粛させる。 ④ 同居家族が感染された場合 → 該当する選手は、大会等の参加を自粛させる。 ⑤ 医療機関・行政機関(含む保健所)等より自粛要請等があった選手は、大会等の参加を自粛させる。
【選手・指導者の追加エントリー・変更について】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「インフルエンザ」等感染症流行によって選手に欠員が生じた場合、特別に以下の通りエントリー申込締切後の選手の追加エントリーを認めることとする。 ※ 前述のチーム活動自粛に該当しない選手。 ※ 岐阜県サッカー協会に登録されている選手。 ※ 大会規定で認められた学年の選手。 ・ 追加エントリーを認める人数については、それぞれの大会規定の通りとする。 (例えば、20名エントリー出来る大会で、2名のインフルエンザ感染選手が出た場合、2名までは前述の自粛措置に該当しない選手を追加エントリーする事が出来る。) 追加エントリーの手続きは、所定の追加エントリー用紙に記載の上、メンバー表と共に大会本部に提出すること。 ただし、その後の変更は認められないので、注意すること。 ・ 承認されたエントリー表に急遽変更が生じる場合は、大会当日の監督会議までに競技部へ追加エントリー・変更について申告し、改めて承認を得ること。 ・ 上記理由にかかわらず、試合当日にエントリー表承認内容と相違する事象が判明した場合は、監督会議までに競技部まで申告すること。 (監督会議までに申し出た場合、エントリー表の変更を認める。)

【チーム活動自粛に伴う大会結果について】	
	・ インフルエンザ等感染症による選手やチームの活動自粛で、試合開始前に大会規定の人数が揃わない場合、不戦敗とし、大会成績を0-5の得点で相手チームの不戦勝とする。
	・ 上記規定によって当委員会主催の大会運営を行うが、さらなる感染拡大が予想され、医療機関・行政期間(含む保健所)・医療機関などから活動自粛の範囲を広げる通達が出た場合には、大会の中止等も検討する。
【試合方法】	試合時間は、●A・Bクラス(8人制)20分ハーフ ハーフタイム5分とする。
	●Bクラス(8人・3P制)12分-1分-12分-5分-12分 ※JA全農杯のみ。
	●Cクラス(8人制)15分ハーフ ハーフタイム5分とする。
	●D・Eクラス(5人制)10分ハーフ ハーフタイム5分とする(CCIカップを除く)。
	●Dクラス(8人制)15分ハーフ ハーフタイム5分とする。※CCIカップのみ。
	・ リーグ戦における順位は、勝点(勝ち3、引分1)-得失点差-総得点-当該チームの対戦成績の順で決定し、すべて同じの時は3名によるPK戦により決定する。なお決しない場合はサドンデスとする。
	・ トーナメント戦において、勝敗を決しない時は3名によるPK戦とする。なお決しない時はサドンデスとする。但し、決勝戦は5分-5分の延長戦を行い、なお決しない時はPK戦とする。
	・ フジパンカップ(Aクラス) サーラチャレンジカップ兼OKAYAカップ(Cクラス) サーラE&Lカップ(Bクラス) 県選手権大会(Aクラス) ぶんけいカップ(Bクラス) 1次リーグ(予選)・2次リーグ(西濃大会2次R)・決勝トーナメント(西濃大会決勝R)にて行われる。 1次リーグ各ブロック上位2チームが2次リーグへ進出する。 2次リーグ各ブロック上位2チームが決勝トーナメントへ進出する。 決勝トーナメントは8チームにて行う。
	・ ヒマラヤカップU-8(Eクラス) ヒマラヤカップU-9(Dクラス) CCIカップ(Dクラス) 1次リーグ(予選)、決勝トーナメント(西濃大会決勝)にて行われる。 1次リーグ各ブロック上位2チームが決勝トーナメントへ進出する。
	・ 全日本少年サッカー大会(Aクラス) FAリーグU-12、2次リーグ上位ブロック10チーム、及び下位ブロック上位2チーム(全12チーム)が西濃大会(3次リーグ)へ進出する。 3チーム4ブロックにて3次リーグを行う。 2次リーグ上位1チーム(全4チーム)が決勝トーナメントへ進出する。 決勝トーナメントは4チームにて行う。
	・ JA全農杯(Bクラス) ぶんけいカップのベスト8の8チームによるトーナメントで行う。
	※ 尚、大会方式は参加チーム並びにブロック数により、大会前に変更する場合がある。

